



2026 年 2 月 20 日

各 位

会 社 名 ハウス食品グループ本社株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦上 博史
(コード番号：2810、東証プライム)
問 合 せ 先 広報・IR部長 三宅 英貴
(TEL. 03-5211-6039)

特別損失（減損損失）の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりました。併せて、2026 年 3 月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

米国内の物価上昇による消費者志向の変化を受けて、当社グループの米国大豆事業における高価格帯の PBF（植物由来食品）製品の販売が苦戦しており、収益性が低下しております。この状況を踏まえ、当社の連結子会社であるハウスフーズホールディング USA 社が 2022 年 9 月に完全子会社化したキーストーンナチュラルホールディングス社（以下、キーストーン社）の事業計画を見直しました。また、米国大豆事業の新拠点として米国ケンタッキー州で工場設立の準備を進めておりましたが、近年の需給状況に鑑みてこの投資計画を中止し、既存工場・設備の有効活用および生産性改善を優先していくことを決定いたしました。以上 2 点の計画見直しの結果、減損損失約 69 億円を特別損失として計上する見込みとなりました。

損失計上を見込む主要な項目は以下の通りです。

- ① キーストーン社の顧客関連資産、のれん、有形固定資産：約 59 億円
- ② 米国大豆事業新拠点の設立に伴う建設仮勘定：約 10 億円

米国の食シーンにおいてバランスの良いたんばく質摂取のあり方は継続的な食課題の一つであり、TOFU の需要は中長期的に今後も拡大が見込めるものと考えております。今後、米国大豆事業においてはメリハリある営業戦略の実行や新たな需要の創出、生産機能の最適化や固定費の削減を推進することで業績改善を進め、収益性を伴う事業成長へと繋げてまいります。

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	321,500	19,000	20,300	13,000	140.68
今回修正予想(B)	316,500	17,500	18,700	7,800	84.48
増減額(B－A)	△5,000	△1,500	△1,600	△5,200	
増減率(%)	△1.6%	△7.9%	△7.9%	△40.0%	
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期)	315,418	20,004	21,388	12,493	131.86

(2) 修正の理由

売上高、営業利益、経常利益につきましては、売上高の停滞や事業コスト上昇の影響により前回発表予想を下回る見込みです。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2025 年 9 月 2 日に開示いたしました株式会社デリカシェフの事業譲渡に係る譲渡益の計上を見込むものの、前述の減損損失の計上や経常利益の下方修正影響により、前回発表予想を下回る見込みです。なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はございません。

以 上